



台風シーズン到来! 風水害に備えを

毎年夏から秋にかけて発生する台風や大雨は、強風による倒木や建築物の倒壊、家屋への浸水、土砂崩れや鉄砲水などによる災害をもたらします。被害を最小限にとどめるために日頃から風水害に対する正しい知識を学び、備えておくことが大切です。

風水害に備えて

その

住んでいる地域の

特性を知ろう

住んでいる地域では、どのような災害が発生しやすいか、危険箇所はどこか、いざというときの避難場所はどこかなどを知っておくことが大切です。

特に河川の近くや、がけ地付近などは災害が起こりやすいので、台風が接近しているときなどは、細心の注意を払って行動し、災害が起こりそうな所には近づかないようにしましょう。



市では防災パトロールを行い、点検に努めています

その 普段から備えを

いま一度、防災の観点から、家の周りを点検し、修繕できるところは直しておきたいものです。壁の亀裂、塀や屋根などの老朽化しているところは、浸水や倒壊の要因となることもあります。

また、石垣や排水溝を点検し、土砂流出や排水不良による浸

水を防ぎましょう。強風で飛ばされそうなものや浸水時に流されそうなものは、全て屋内に入れるか、きちんと固定するなどの対策も必要です。

大規模災害時には、電気・水道・ガスなどのライフライン生命線が不安定になりがちです。水や非常食のほか、懐中電灯、携帯ラジオ、乾電池、家庭医薬品、衣類、現金などの非常持出品を常に準備しておきましょう。

台風シーズンに備える

● 日常の備え

情報の収集



台風〇号は...

避難経路は...



避難所・避難経路の確認

非常食の確保



非常持出品の確認



医療救急品、懐中電灯、電池、ラジオ、飲料水と食料(2~3日分)、現金や貯金通帳などの貴重品、ライター、マッチ、ろうそく、衣類、毛布、ナイフや缶きり、乳幼児がいる家庭はほ乳瓶やオムツなど